愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	地域振興論		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

これからの時代が明るくなることを信じて希望を切り拓こうと、全国各地域で「地域振興」に取り組む人たちがいる。地域振興とは、「地域の問題を解決すること」や「地域を元気にすること」であり、地域活性化、地域創生（地方創生）、地域づくり、まちづくり、村おこし、シマおこし等とも呼ばれる。この授業では、地域の構造と現状・課題について、「社会構造」「経済産業構造」「政策構造」の３つの側面から理解する。その上で、全国各地域の多くの具体的な事例をもとにして、地域振興のあり方を理論的かつ実践的に学ぶ。さらに、地域づくり団体の設立と活動の実践的ノウハウも学ぶ。必要に応じて、各回で雑学、時事問題、就活情報等も紹介する。授業形態は、原則各回を対面とするが、必要に応じて事前に連絡した上でオンラインで行う場合がある。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	実践的な学習に重点を置いて、授業テーマに関わる具体的な事例を多く取り上げて、知識・ノウハウを深める。担当教員は、シンクタンク企業や多くの民間非営利組織等に所属して、様々な実践活動やビジネス、国・自治体の政策形成等に携わってきていることから、特に実際に活動やビジネスに携わった事例、あるいは調査研究等で関わった事例を多く取り上げることで、リアリティを持って理解できるように授業を行う。事例学習は各回必要に応じて行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の内容・進め方・課題・成績評価方法等。地域振興とは何か	□
第2回	地域振興の概要	地域振興がなぜ必要か、地域の構造と担い手、地域振興の方法、地域データの見方	□
第3回	地域の社会構造と現状・課題	都市・農山漁村・離島・半島の特性、人口動態、地域資源、地域コミュニティ、事例 等	□
第4回	地域構造と地域振興の事例(1)：海士町	島根県海士町（小さな島の挑戦～最後尾から最先端へ～、行財政改革、島のブランド化、島前高校魅力化プロジェクト、大人の島留学、移住・定住）等	□
第5回	地域構造と地域振興の事例(2)：災害・非常時の地域振興	災害時・非常時の地域振興（東日本大震災（浦戸諸島）、熊本地震、能登半島地震、京都府「災害時連携NPOネットワーク」、コロナ禍等）等	□
第6回	地域の経済産業構造と現状・課題	産業構造（企業の業種・規模）、所得構造（地域間の格差）、物価、地域イノベーション、事例（愛知県等） 等	□
第7回	地域構造と地域振興の事例(3)：上勝町	徳島県上勝町（料理の”つまもの”の葉っぱビジネス、ごみゼロ・ウェイスト運動、「日本で最も美しい村」連合）等	□
第8回	地域構造と地域振興の事例(4)：燕市・三条市	新潟県燕市・三条市（金属加工業の地域産業集積、地域イノベーションによる事業転換400年の歴史）等	□
第9回	地域の政策構造と現状・課題	自治体の行政・財政、自治体と国の関係、公共サービス、事例 等	□
第10回	地域構造と地域振興の事例(5)：売木村	長野県売木村（愛知東邦大学との学び合い協働事業、500人の村づくり、走る村プロジェクト、観光、山村留学等）等	□
第11回	地域構造と地域振興の事例(6)：豊岡市	兵庫県豊岡市（コウノトリと共生のまちづくり、コウノトリ保護100年の歴史、環境と経済が共鳴するまちづくり）等	□
第12回	地域構造と地域振興の事例(7)：神津島村	東京都神津島村（“もったいない資源”の繋ぎ合わせからの創生、協働による神津島創生）等	□
第13回	地域づくりの団体設立ノウハウ	地域づくり団体を立ち上げるための実践的ノウハウ	□
第14回	地域づくりの活動ノウハウ	地域づくり活動を行う計画立案・運営の実践的ノウハウ	□

第15回	地域構造と地域振興の事例(8)：長岡市等	様々な地域振興の事例（長岡市と大学の連携事業、南房総市の道の駅、高松市の商店街振興、遠野市の移住定住策 等）	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前に授業テーマに関する予習をしておき（１時間程度）、事後に授業での学びを整理して考察すること（３時間程度）。授業での説明をしっかり聞き、頭の中で想像力を働かせて「理解」しながらメモ（ノート）を取り、学んだことを整理して、自身の言葉・文章で適切に表現するスキルを身につけて、将来に生かせるようになること。学んだことを実社会での出来事と照らし合わせるとともに、そこから自らの疑問や興味に応じて様々な手段で学びを深めて、自らの考え方を持てるようにすること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

計画的に各回の授業で少しずつレポート課題（授業での学びや考察等）を行うことで無理なく復習等を行い、将来の仕事・生活や就職活動等で活かせるように学びの蓄積を行いやすくする。質問・意見等への回答等フィードバックは次回以降の他、電子メールや研究室等で柔軟に行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	知識の理論的な学習と具体事例の実践的学習により地域振興の現状・課題、具体的な取組みなどを理解・説明できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業期間中の各回授業レポートや総括レポートで評価。原則、各回授業に出席することで出席扱い。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特にありません。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	テーマに関連した参考文献や実践的な活動情報等を必要に応じて授業中に紹介する。	
2		
3		
4		
5		